

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「諸行無常」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

さて、標題の諸行無常とは仏教用語で、この世の現実存在はすべて、すがたも本質も常に流動変化するものであり、一瞬といえども存在は同一性を保持することができないということです。お釈迦さまが説かれました。

数百年のあいだ、西光寺の裏庭で威風堂々とその勇姿を見せてくれた大木（恥ずかしながら名前がわかりません）が前任職がいらっしゃるから傷み始め、根元にも大きな穴が空いており、5月の強風で大きな枝が落ちました。このままでは早晚倒れ、寺を壊すかお隣を壊すかと不安になり、役員の方にも相談の上、ご門徒の大嶋さんの取り計らいで伐採させていただきました。その際、ご門徒さまから集めさせていただいている護持会費からの支出をさせていただきました。詳細はまた年度末にお知らせします。大嶋さん

でんとうほうこく
伝灯奉告法要にお参りしましょう。

11月21日（月） ～ 11月22日（火） 本願寺

の話では、ワイヤーをかけてクレーンで吊ったところ、幹が腐っていたのでメリメリメリとワイヤーがめりこんだということで、本場に切つて良かったなあと思いましたが、前任職が小さい頃はもつと高くて、どこからでも寺の場所が分かったと言っておりました。富山県高岡を離れ、この地に寺を建立してから350年余、いったい何年前からこの木は寺を見下ろしていたのでしょうか。私が知らない先祖もこの木を見上げて育ったことでしょう。樹木の寿命は私たちのいのちよりはずっと長いとはいえず、いつまでも生き続けるわけにはいかないですね。



伐採前の大木のようす

7年前には境内の松の木も松くい虫の被害で伐採しましたし、現在は、家族として19年ものあいだ西光寺で暮らしてきた猫のタマも老衰で猫生？を終えようとしております。樹木も人も猫も建物もどんどん変化していくなあと感じます。最近季節の移り変わりもあつという間で、私の人生もあとどれくらいなんだろうと考えます。親鸞聖人も歎異抄というお聖教の中に「また浄土へいそぎまゐりたきころのなくて、いささか所労のこともあれば、死なんずるやらんところぼそくおぼゆることも、煩惱の所為なり」（また、阿弥陀の浄土へ喜び勇んでゆきたいという心が起こらなくて、ちよつと病氣にでもなれば、死ぬのではないかと心細くなることも煩惱がはたらくからです）とお言葉を残されており、自らを煩惱具足の凡夫と受け取られていたのだと思うと、ああ、親鸞さまもこんなことを思っておられたんだから、私が思うのも当然だなあと安心するのです。

生老病死の四苦は、どれひとつとっても思い通りにはならないことと教えていただきます。いつまでも健康は続かず、老いて病を得てゆきます。そのことをあるがままに受

け取り、いのちの行く末を阿弥陀さまにおまかせしていくよりほかはないと聞かせていただきます。そのうえで一日一日を大切に生きることが肝要なのだと思います。

しかし、毎日のやるべきことをきちんとして生きていくことさえ、私にはなかなかできません。この寺報ももつと早くに出そうと思っていたのですが、やっぱり無理でした。

「伝灯奉告法要にお参りしよう」

前号でもお知らせしました、阪北組の伝灯奉告法要の団体参拝の第一期の募集にまだ若干の余裕があります。締め切り間近ですので、お参りしたいという方がありましたらなるべく早く住職までご連絡ください。もちろん私も一緒に参りさせていただきます。

・第一期 11月21日(月)〜22日(火)

募集人員 67名

参加費 2万7千円

「副組長になってしまいました」

西光寺は、福井教区阪北組に所属しております。全国に教区は31あり、福井教区には15の組があります。阪北組は坂井市・あわら市・福井市の一部から成り、35カ寺からなる、組としてはとても大きなグループです。そこに組長1名(決してくみちようではありません)

せん)と副組長2名がその運営にあたるのですが、まだ住職も2年目で右も左もわからないのに、副組長にされてしまいました。ちなみに組長はあわら市の阿弥陀さま(ご住職は長く仁愛女子高校の演劇部の顧問をされており、お付き合いは長いです)、もうおひとりの副組長はあわら市の善蓮寺さまです。そのようなわけで、出かけることも多くなり、ご門徒さまにも月参りの変更などをお願いすることも増えると思いますので、なにごとご理解・ご協力をお願いいたします。なお、三国町仏教会の会計もやらなければならなくなりました。私にはいつぱいいつぱいですが、なんとか頑張ります。

「永代経有り難うございました」

去る6月8日(水)に当寺の永代経を厳修させていただきました。お参りくださったみなさま、またお蠟燭代をお持ちくださったみなさま、御膳米をお持ちくださったみなさま、誠に有り難うございました。

私の勝手な思いから、『お参りされた方だけにお蠟燭代を出していたくのは申し訳ない』と、春のお彼岸にはお蠟燭代をいただきますませんでした。しかし、このたびは役員の方からも「あなたがもらうのではない、仏さまにお供えするのだから、受け取るべきだ」というご指摘をいただき、朝令暮改が常の私

は、そのとおりだと思います、お受け取りさせていただきますました。また、今年から配布させていただいた御膳米の袋ですが、ちよつと大きすぎました。来年からはあまりパンパンに入れてくださらなくても大丈夫です。すみません。ご門徒のみなさまからは、日頃よりお



野菜やおかずなどいっぱい頂戴しまして、母と毎日たいへん有り難くいただいております。内嶋家のエンゲル係数はきつととても低いと思います。感謝いたしております。

「前任職三回忌日程について」

前号にも書きましたが、前任職の三回忌並びに前坊守の三十三回忌法要を、報恩講の初日のお速夜のお座に引き続き厳修させていただきますことになりました。カレンダー・予定表に書き込みましたか? いますぐどうぞ!

10月16日(日) 午後2時〜

内嶋淳浩 090-8967-7902

メールアドレス

soichiro4989@gmail.com